



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.12.9 No. 3908

全国にうつてばよう!! 12.5集会報告

十二月五日、十三時より東京・千駄ヶ谷区民館において、「小選挙区制粉碎、細川内閣打倒、清算事業団闘争勝利全労働者集会」が開催され、会場を埋め尽くす360名の闘う労働者が結集し大成功を勝ちとった。

清算事業団闘争を運動の中心に、全労働者の声に、再構築へ

集会は、動労千葉滝口執行委員、国労共闘吉野代表の司会、動労総連合水野委員長の開会の挨拶で始まった。

まず連帯のあいさつを教組・自治労・全通・民間を代表してス労自主、顧問弁護団を代表して鈴木先生より受けた。鈴木先生は、「1047名の解雇撤回という国鉄清算事業団闘争の原点をあいまいにせず、勝利の決着をつけるために、この国家的不当労働行為に一人一人の労働者が自らの主体的な闘いとして決起する」という力強い連帯の挨拶を述べた。

つづいて動労千葉田中書記長、国労闘争団から秋田闘争団小玉さん、東京労組交流センター代表の三角さんの三氏よりこの間の闘争の報告がなされた。

田中書記長は、「一一・三〇一一二・一ストが新たな一〇万人首切り攻撃への国鉄労働者の怒りを代表し、清算事業団闘争

勝利の回答として、大きな影響力と成果をあげた。」と力強く報告した。

国鉄闘争を水路に、90年代労働運動の中心に

次に、本集会のメインである中野委員長の話を受けた。委員長の話を受け、参加者は、国鉄闘争を戦略的水路とし、不況と大量失業、戦争の時代に、



小選挙区制攻撃、細川・小沢政権の国家改造計画の手先である「連合」を打倒し90年代労働運動の闘いの再構築をかちとつていくための自信と深い確信を共有した。

また、全国各地で国鉄集會を開催し、闘いの大きなうねりをつくりあげていくことが確認された。

続いて動労千葉青年部によるカンパアピールのあと、動労総連合から動労水戸国分書記長、動労連帯高崎和田山委員長、動労西日本小川書記長、動労千葉争議団から高石執行委員、動労

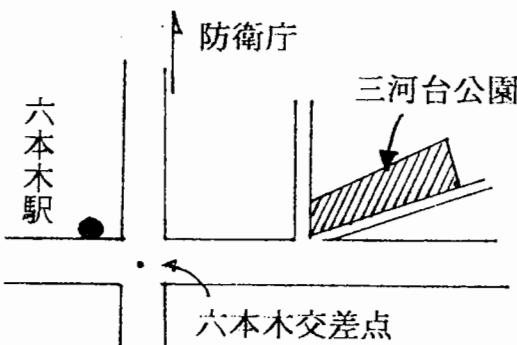
千葉家族会から佐藤会長、国労から東京・千葉・山形・高崎それぞれ職場における闘いが報告され、運動の主導権をガッチリと握り締め、国鉄労働者は断固闘う決意を自ら表明した。

最後に動労千葉布施副委員長による閉会の挨拶、団結カンパロウをもつて、一二・五全国労働者集會はいつまでも鳴り止まぬ拍手の中闘う熱気にあふれ、やる気に満ちた総決起集會として大成功のうちに終了しました。

小選挙区制絶対阻止 参議院で廃案へ

12・15中央集会

☆とき 12月15日(水) 18時
☆ところ 三河台公園



☆主催 東京反戦共同行動委員会
反戦共同行動委員会

部落解放東日本共闘会云議

結成一周年集会云

- 日時 十二月十九日(日) 13時~16時
- 場所 小岩コミュニティホール
- 記念講演 宗像 啓介氏(部落解放理論センター)